2018　第１号

韮高 SSH だより

2018.6.26　発行

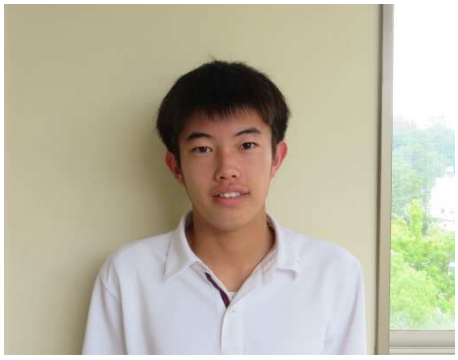
　みなさん、こんにちは！本年度の「韮高 SSH だより」を担当する２年文理科文系チームです。SSH だよりを読むことで、みなさんが SSH の活動をより身近に感じてもらえるように頑張ります！担当を替えながら、年に 6 回程度発行する予定です。毎回、文系チームで内容を考えながら作っていきます。お楽しみに！

今年度の文系メンバー16 名を紹介します。

奥水　直輝（高根中）　篠原　宇貴（敷島中）　志村　智樹（韮崎東中）
進藤　正慈（須玉中）　内藤　聖晴（明野中）　中込　陸（白根巨摩中）
浅川　世奈（高根中）　奥﨑　光（梨大附属中）　加藤　里菜（韮崎西中）
河村　若菜（双葉中）坂本　小和（韮崎東中）　坂本　啓（須玉中）
相馬　花音（韮崎東中）　竹内　詩織（小淵沢中）
田中　沙季（明野中）　米山　和（明野中）

　さて、いよいよ本年度の韮高 SSH の活動が本格的に始まりました。そこで初回である今回の SSH だよりでは、本年度から新たに SSH に参加する 2 年 5 組（普通科理系習熟クラス）と、昨年度から引き続き SSH の活動に取り組んでいく 2 年 6 組（文理科理系）のみなさんの「意気込み」を紹介したいと思います。

安藤　颯音（２年５組：須玉中）



　私は、今年度理系習熟クラスである５組に入り SSH での活動・課題研究を行うことになった。課題研究は、私と５組の友達の２名でのグループ活動となる。研究内容の分野は「生物・化学」、テーマは「果物の力で魚をおいしく変える」というものだ。このテーマを必ず成功させたいという強い意志が私にはある。なぜなら、私は魚が大好きだからだ。この研究では、人々から「雑魚・外道」と扱われている魚を用いることを考えている。この扱われ方を一転させ、常識を覆す魚を作ることが私たちのグループの最大の目標だ。私たちには専門的知識はほぼない。だが、SSH には心強い先生方がたくさんいらっしゃる。先生方に相談しアドバイスをいただいたり、仲間と意見交換しながら学校全体として研究を進めていきたい。今後、たとえ研究がうまくいかないことがあっても、失敗の原因を追究し来年度に繋げていきたい。

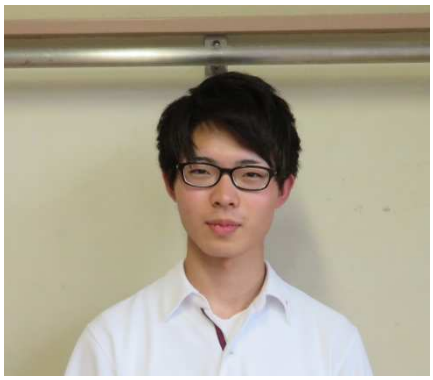
松野　息吹（２年５組：韮崎西中）

　数年前まで、私は本を読むことが好きな方ではなかった。しかし、今では読書が一番の趣味と言えるほどに好きになっている。なぜ本を読むことを好きになれたのか。それは、私が読書を通して新しいことを知る喜びを感じられるようになったからだと思う。実際、数年前から分からないことや気になることがあるとすぐに調べるようにしている。だから、昨年総合的な学習の時間で行ったSSHの活動で、実験について詳しく調べレポートにまとめる学びは大変充実していた。そのため、今年から始まったSSHの課題研究はとても楽しみである。一つのことについて調べ、それを報告書にまとめて周りの人たちと情報共有する機会は自分にとってよい刺激となる。この機会を活かし、SSHの活動を通じて自分自身を成長させていきたい。

篠嵜　友里愛（２年６組：白根御勅使中）

　「新しい世界を知るって楽しい」私は昨年度のSSHの活動を通して、こう感じるようになった。さまざまな分野の講座や実験を通して、今まで知らなかった分野への関心意欲が高まったからだ。今年度のSSHの活動では、それを一層高めていきたいと考えている。そのために、特に力を入れていきたいのは課題研究だ。昨年は何から手をつけていいのか分からず、ただ実験をして考察をまとめるだけになってしまったような気がした。今年は昨年の反省を活かし、得た結果からなぜそうなるのか、とことん突き詰めていきたい。その先にまだ知らない世界が広がっていると思う。SSHの活動は、私をさらに成長させてくれるものだ。だからこそ、そこで得た経験を将来に繋げていけるような取り組みを主体的に進めていきたい。

篠原　蒼真（２年６組：明野中）



　私は昨年度、紙飛行機の折り方と飛距離との関係を研究テーマに定め、実験を重ねてきた。紙飛行機の重心の位置、初速度、投げる角度等多くの検討事項があり、データ収集の難しさや場所の確保など難しいことが多かった。今年度は、クラスメートから新たなテーマについての提案があり、課題設定を再検討し新しい課題を取り組んで行くことを決めた。仲間と共に知恵を出し合い、試行錯誤しながら研究を進めていきたいと思っている。また、計画的に研究を進め、結果を出すためにも積極的に課題研究に取り組んでいきたい。そして、活動を通じて自分の知識や想像力も高めていきたい。SSHの活動経験は、自分の将来にとっても役立つものだと思っているので、今回の課題は最後までやり遂げたいと思う。

（文責　２年６組　輿水直輝　篠原宇貴　相馬花音　竹内詩織　田中沙季　米山和）